



読書のまち・かわさき

読書のまち・かわさき 通信

NO51 第2回全市ボランティア研修会号

読書のまち・かわさき事業推進委員会 会長
川崎市教育委員会 学校教育部 指導課長

2011.3.7

“子どもは悲しさや辛さを大人より少なく 感じることはないのです”

～浜田佳子先生講演会『発想から一冊の絵本へ』～

1月28日、中原市民館で行われた「第2回全市ボランティア研修会」の講演では、参加した人の中に息づいたり染み込んだりしていく浜田先生の言葉との出逢いが、確かに感じられました。

①<♪浜田先生語録から>

浜田先生の創作の“根っこ”には、「思いを形にできない子どもの心により添っていきたい」というメッセージが息づいています。たくさんの「浜田語録」を紹介しましょう。

“子どもは、今、この瞬間を生きている”

「年齢が低い子どもほど、今の瞬間を生きています。『後で』『待って』は子どもにとってとても嫌なものなのです」。

“子どもは命に順位をつけない”

「子どもは、人間の命、犬の命、ありの命も等分にみえています。大人になるにつれて、命に順位をつけるのです。（大事な命とそうでない命）そして、人間の命ですら、順位をつけるのです」。

“子どもは、悲しさや辛さを大人より少なく感じることはない”

「人生の悲しみは子どもをよけてはくれないのです。人生経験のない分、辛さもストレートに受け止めてしまうのではないのでしょうか」。

“子どもの視覚的感覚は大人より優れている”

「子どもは、何もかもきっちり見ていて、大人が見逃すものに気付くのです。私は、こういう感覚の鋭い子どもに向けて、絵本をつくっています」。

②<♪浜田先生の「思い出の絵本」(子育てを通して)>

『もりのなか』(マリー・ホール・エッツ著 福音館書店)

「この絵本は白黒でしたが、読んでいる人は自由に自分の色を付けて覚えています。<ぼく>という小さな男の子が紙の帽子を被り、森の中をラッパを吹いて歩く話ですが、息子はこの時<ぼく>を<自分>だと思って読んでい

ました。この大好きな絵本を普段はやきもちを焼いている妹に対して、覚えたての言葉で読んであげていました。自分の楽しい絵本の世界を妹にも分けてあげようと向き合う姿がありました。排除していた妹を受け入れるという空気をつくるきっかけとなった本です。

『おふろやさん』（西村繁男著 福音館書店）

「20歳から仲良しの絵本作家、西村さんから頂いた本で、家族が銭湯に行き、そこでの体験が一冊の絵本になっています。この本も小さい頃、子どもが大好きだった本で、何度もページがなくなってしまいました。消えたページは、今でも心の中にあるのか、本を見るとタイムカプセルのようでそこへ戻ることができるのです」。

③<♪浜田先生がつくった本から>

『てとてとてとて』

「人間は生きていくだけですごい、何もできなくても生きていくだけでいい、という思いで描きました。人間の手の素晴らしさをこの一冊に描きました。手は、日常的なことをするだけではなく、精神的な部分も伝えます。手でさする、手を握る、手を重ねる、肩を組む等がそうですね。お話もします。手話や身振りがそうですね。読むこともする。点字、おでこのこぶを確かめる、ポケットを探る等がそうですね。手ってすごい。手は心が出たり入ったりするところかもしれません。私たちはすごい力をもっているのです」。

④<♪浜田先生の絵本の作り方>

- ①「つくりたいと思ったら、小さな紙にいろいろと書いてみます。大事なものを真ん中から少しずらして描きます」。
- ②「糊で貼り、小さな絵本を作ります。イメージを具体化し、めくって何が出てくるかを大切に絵本にしてみます。紙芝居の絵は遠目に見るように描きますが、絵本の絵は立体として描きます」。
- ③「いよいよ下書きです。登場人物の服の色等を決めます。この段階で編集者に見せ、意見を聞きます」。
- ④「絵本にします」。

⑤<♪図書ボランティアや読み聞かせの話に言及して>

「学校図書館は、本があればそこに子どもが本を読みにくるわけではないです。本を手渡ししてくれる人が必要です。子どもと本が出会うことが大切です。手渡すことで、子どもは本を読んだり一生の本に出会ったりします。本を読んでもらった経験は、愛された経験として子どもに残ります」。

◇プロフィール

1947年埼玉県川口市生まれ。桑沢デザイン研究所卒業。田中一光デザイン室勤務後育児に専念。1984年、初めての絵本「あやちゃんのうまれたひ」を福音館書店から出版する。

絵本に「あそぼうあそぼうおとうさん」「てとてとてとて」「わらう」「ペカンの木のぼったよ」以上福音館書店、「ぼくがあかちゃんだったとき」「さっちゃんとなっちゃん」以上教育画劇、「ぼくのかわいくないいもうと」ポプラ社、「あめふりあっくん」佼成出版等多数。